

スマホを活用した着地型観光について

2012年12月19日(金沢会場)

2012年12月20日(名古屋会場)

富士通株式会社

株式会社富士通システムズ・ウエスト

1. 富士通が取り組む地域活性化ビジネス
2. スマホを活用した着地型観光プロジェクト事例
 - (1) 2012年度事業 着地型観光×ICT利活用
 - (2) 実証実験システム概要
 - (3) 2013年度以降の取組
 - (4) ご参考 実証実験イベント
 - (5) 事例プロジェクトの今後「スマートシティ構想」

1. 富士通が取り組む地域活性化ビジネス

1. 富士通が取り組む地域活性化ビジネス

地域活性化とは・・・

地域におけるコミュニティ機能喪失、文化・経済衰弱は近年著しく、コンパクトなエリアでの持続可能な循環型経済社会が強く望まれています

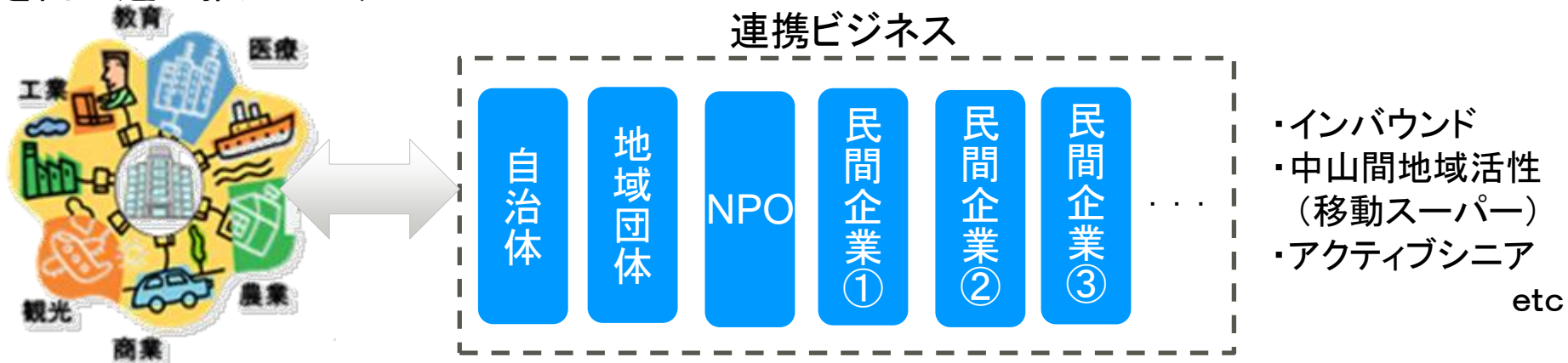
人口を減少をさせないようにすることが地域活性化であり、自治体のみではなく住民や事業者が連携して再生に取り組まなければならないと富士通は考えます

- (1) 人やモノ、カネをまわしていく
- (2) 人を増やし、雇用の場を作り、幸せ度を高くする

地域活性化ビジネスとは・・・

「新たな経済圏」を創造することであり、継続的に自活できるエリア実現を目的とした事業の「ビジネスモデル」を確立することが不可欠です

官や民の単体ではなく、新たな連携を模索し、ICTで地域の課題を解決するビジネスを富士通は推進します



(1) ICTサービスの適用範囲

ご紹介する富士通のICTサービスは高齢化社会や地域経済・文化の衰退という社会の課題に対応するソリューションとして様々なシーンでの利用が想定されます

商業

固定客・消費額増

- ★プレミアム付電子食券
 - ・商店街飲食業店舗における決済
 - ・B級グルメ等のチケット

文化

観光

- ★イベント・スポット紹介
 - ・文化遺産、建築物、グルメ等紹介
 - ・現在開催中イベント
- ★周遊券販売
 - ・周遊コース設定・販売



健康

- ★健康マイレージ
 - ・健康診断、人間ドック受診ポイント
- ★スタンプラリー、ポイントラリー
 - ・ウォーキング、ランニング、サイクリング等のスポーツ奨励



健康増進

交通

公共交通利用者増

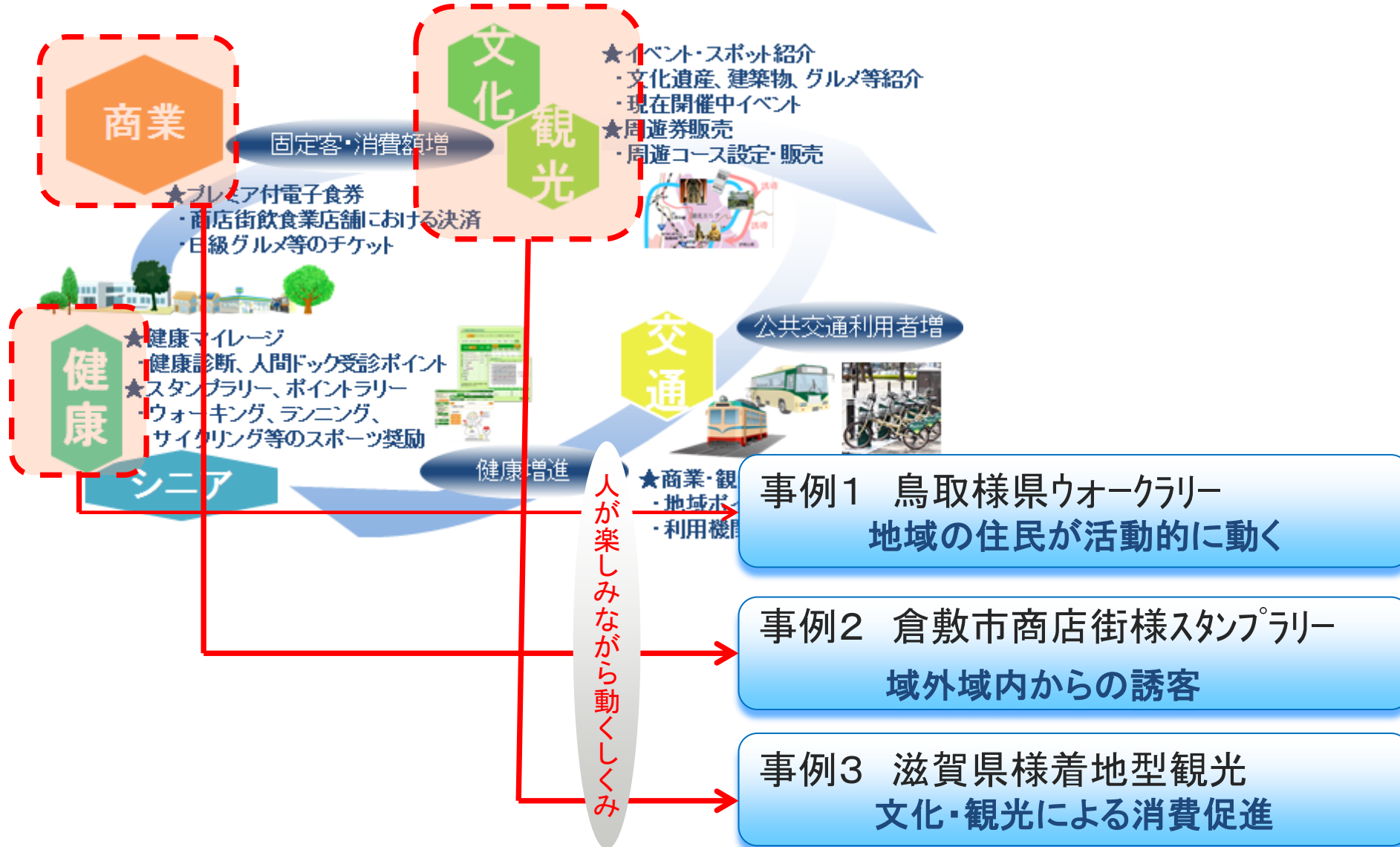


- ★商業・観光・健康と交通機関連携
 - ・地域ポイント還元
 - ・利用機関及びルート登録

シニア

(2) ご紹介事例のカテゴリ

鳥取県は健康増進の、倉敷市は商店街活性化、滋賀県は着地型観光分野での事業にスマホを使ったサービスを利用しています

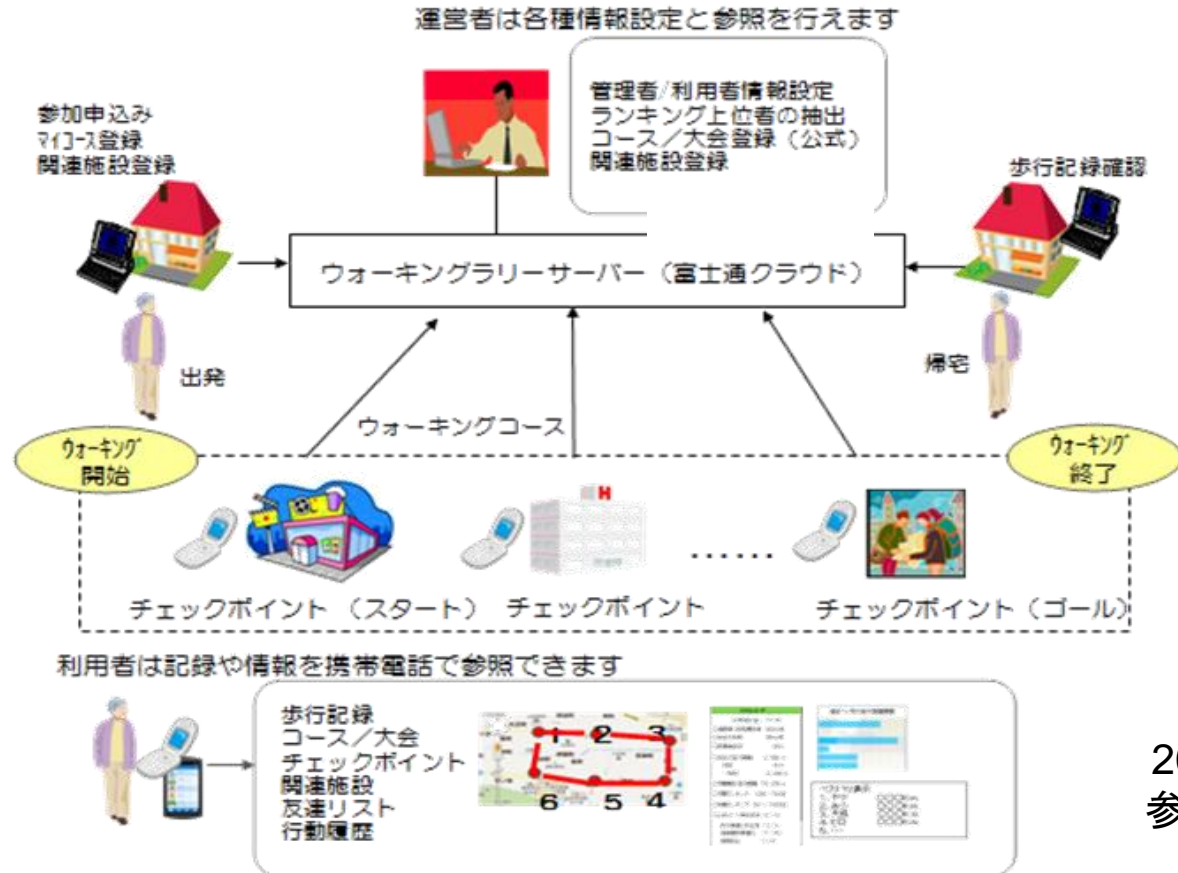


導入事例1 (鳥取県様ウォークラリー)

鳥取県様においては健康ソリューションとして、倉敷市商店街様においては観光ソリューションとしてサービスが導入されています

自治体ウォークラリー (鳥取県様 2012年4月稼働済)

各自治体でコースの整備が進められておりラリー形式でのイベントが増加しています
ウォークラリー機能を利用すると記録やランキングを携帯電話で管理できウォーキングをゲーム感覚で楽しむことができます



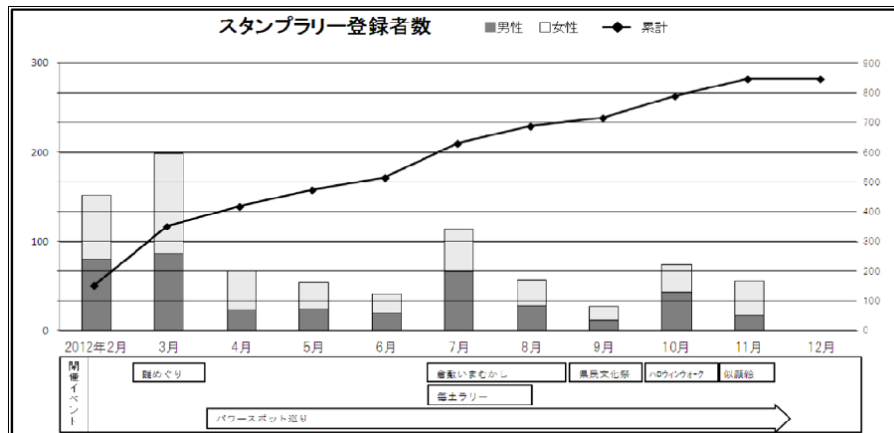
2012年12月時点
参加者数 613人

導入事例2(倉敷市商店街様スタンプラリー)

■商店街 スタンプラリー (倉敷市商店街様 2012年2月稼動)
 スタンプ、クーポン、ゆるキャラ等を収集しながら商店や観光地を巡ります



倉敷市商店街様では定期的にイベントを開催し会員数を増やしています
 世代別の行動範囲・経路等のデータをまちづくりに利用します

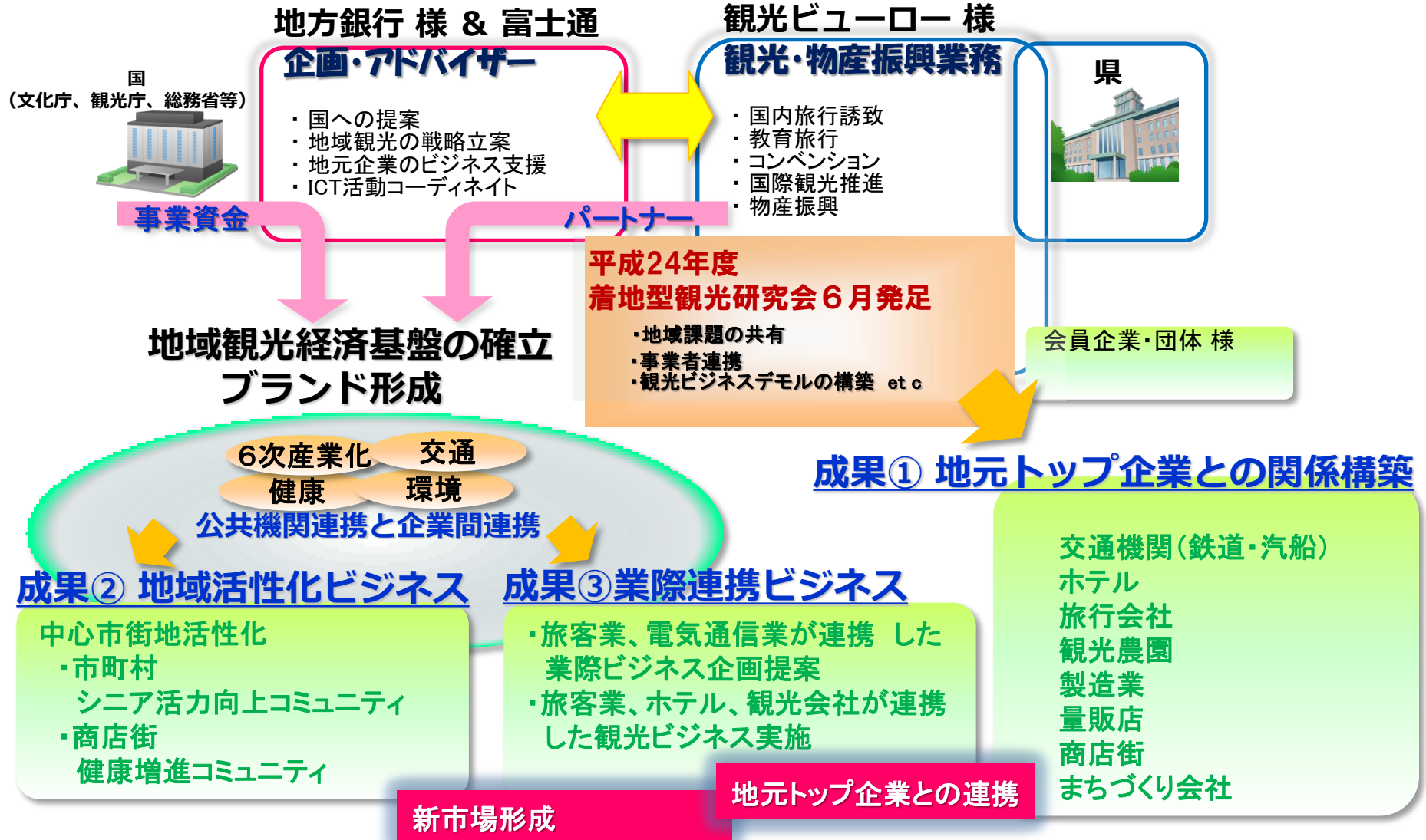


年代	男性	女性	合計
10代	16名 (4%)	25名 (6%)	41名 (5%)
20代	81名 (20%)	139名 (32%)	220名 (26%)
30代	134名 (33%)	141名 (32%)	275名 (32%)
40代	113名 (28%)	92名 (21%)	205名 (24%)
50代	47名 (11%)	33名 (8%)	80名 (9%)
60代以上	17名 (4%)	9名 (2%)	26名 (3%)

2. スマホを活用した着地型観光プロジェクト事例

2. スマホを活用した着地型観光プロジェクト事例 FUJITSU

富士通が推進している地域活性化ビジネスの一つであり、地方銀行様、観光ビューロー様と推進している着地型観光プロジェクトをご紹介します 平成24年度に発足した着地型観光研究会を通して参加企業間で関係性が築かれ、業際連携ビジネスや中心市街地活性化事業に発展しつつあります

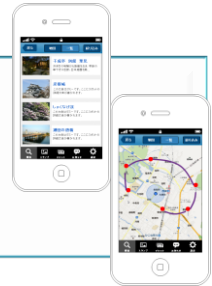


(1) 2012年度事業 着地型観光×ICT利活用

県が有する文化遺産を活かしつつ観光資源を見える化し、誘客とファン増員、消費額の拡大を図ります
ICTを活用した実証実験を開始し、2013年にはモニターツアーにてシステムの有効性を確認します

知る 機能1: 資源の見える化

- スポットやイベント情報を画像やガイダンスにより提供し、認知度をアップさせます
- 利用者の嗜好別に情報を振り分け、効率的に配信します



動く 機能2: スタンプラリー

- スタンプやポイントの収集によりイベントのゲーム性・娯楽性が高まり、参加率や回遊率が向上します
- 魅力あるポイント還元企画と連動させ消費額を増やします



使う 機能3: 電子マネー、チケット

- スマホ1つで買物や食事、施設入場、イベント参加の費用を決済します
- 消費行動の履歴を調査・分析して企画改善に活用することもできます



(2) 実証実験システム概要

地域では自活できる元気なまち、高齢者が幸せに暮らすまちを実現しようとする動きが盛んになっており、人を呼び込んで観光や商業を振興したり、予防医療という観点から健康を増進するしくみづくりが必要とされています
 スたいこねっとV2は「資源の見える化」、「ポイントラリー」、「電子マネー、チケット」の機能によって地域振興や健康増進を図るSaaS型サービスです

<メニュー・スポット情報>

これから訪問予定のある方、既に到着した方に向けてスポットやイベント情報を提供するとともに、現在設定中の周遊こうイベントやスタンプラリーを紹介し、観光地をゲーム感覚で楽しみながら巡ることができます



<スタンプラリー>

スタンプラリーは台紙にGETしたスタンプを収集する方法と、収集するたびにめくれて最後には一枚の写真が表示される方法の2タイプより選択できます



<周遊コース>

オススメの周遊コースを検索し、到着までの経路や時間を参照することができます
ターゲットに応じたテーマ・コース設定を行ってあげれば来訪者は着地型観光の醍醐味を体験できます



<電子チケット>

周遊コースで利用できる食事券や入館券を組み込み、決済機能として利用できます



(3) 2013年度事業 外国人観光客対応

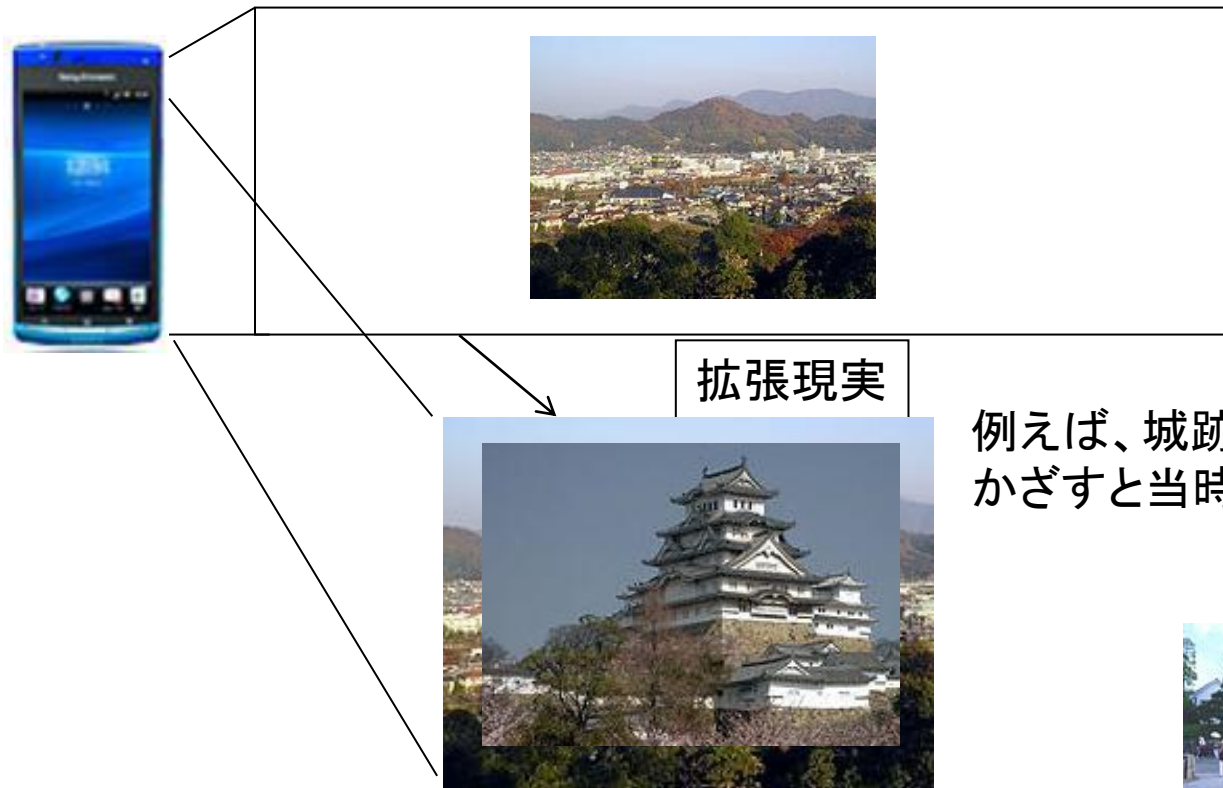
外国人観光客向けに、多言語に対応した情報発信を行うとともに、AR(拡張現実)技術によりビジュアルでコンテンツを表現し、より理解しやすく親しみやすい内容にします

併せて、WI-FI等の通信環境の整備を検討していきます

また、日本の高度医療を観光の目玉とする健康ツーリズムにも取り組んでいきます

「AR 拡張現実」

例)現在の景色に昔の景観を表示⇒ビジュアル表現で親しみやすく



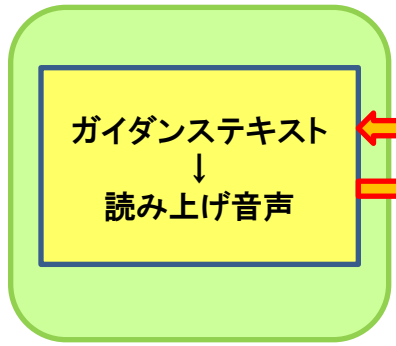
例えば、城跡でスマートフォンをかざすと当時の城が蘇る等・・・



「多言語対応」

情報発信は外国人観光客の方たち向けに、翻訳機能や音声ガイドを提供します
 まずは、中国語・韓国語・英語の3言語から用意します

多言語対応入力ツールで
 入力した多言語テキストを
 有効活用、音声合成だから
 吹き込み費用削減



位置情報・音声情報の連携



这个神社在奈良时
 代(西历782年)时被
 创立, 平安时代在
 (西历806年)时, 被
 近江出行的平地上
 筑的城堡天皇, 作为
 临时的皇宫被做了
 本公司禊祓除。

中国語の音声ガイド



中国人観光客

位置情報すなわちスタンプゲットのでトリガーで
 該当スポットに対応した音声ガイドが可能

「ツアー人気投票・商品化」

着地型観光研究会ワークショップにて企画した15のツアーをWeb上で人気投票を行っています
どなたでもアクセスできますので、人気投票にご参加下さい 人気のツアーは商品化かされるかもしれません

「びわ探・ここにしかない旅」

旅づくりプロジェクト 第一弾



↓ココへアクセス!

http://shiganigiwaiisan.com/biwatan_survey/

みんなでつろう! 滋賀の旅 1番人気のツアーはホントにリリース。

1番気になる旅・ツアーを一つ選んで各画面からご投票ください。
1番人気の旅・ツアーは事務局が頑張って実現に向けて頑張ります!!

※キャンペーン期間 2012年12月16日～2013年1月10日

主催 滋賀観光振興局

投票状況

投票数3

しが旅 NO.4

お地藏さまと暮らす里

お寺とお地藏さんに出会う旅



コースの見どころ

コースの見どころ 滋賀では京都や奈良よりも日常に近いところで神仏が息づいています。湖国近江の名勝、近江八景の一つ「三井の晩鐘」でも知られる三井寺やケーブルカーで向かう琵琶寺はなかなか荘厳なものがああります。でももっ [...]

投票数2

しが旅 NO.2

琵琶湖の東

湖東のものづくりを体験する旅



コースの見どころ

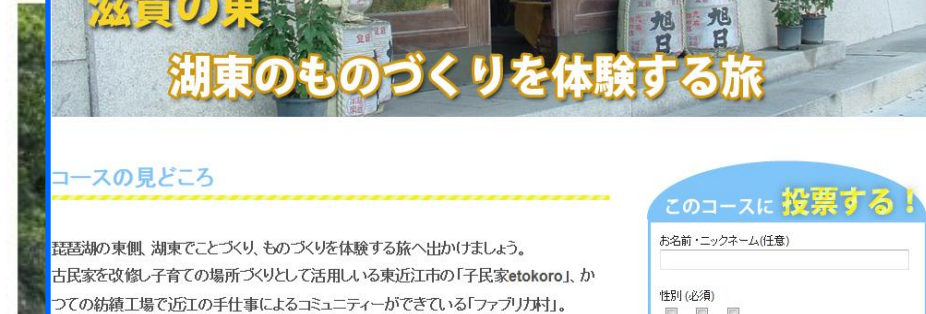
コースの見どころ 琵琶湖の東側、湖東でことづくり、ものづくりを体験する旅へ出かけましょう。古民家を改修し子育ての場所づくりとして活用している東近江市の「子民家etokoro」、かつての紡績工場で近江の手仕事によるコミュニ [...]

投票数2

しが旅 NO.5

滋賀の東

湖東のものづくりを体験する旅



コースの見どころ

琵琶湖の東側、湖東でことづくり、ものづくりを体験する旅へ出かけましょう。古民家を改修し子育ての場所づくりとして活用している東近江市の「子民家etokoro」、かつての紡績工場で近江の手仕事によるコミュニティーができてい「ファリカ村」。そんなファリカ村では週末になると様々なものづくり体験が行われています。

コースの見どころ

コースの見どころ 湖東でことづくり、ものづくりを体験する旅へ出かけましょう。古民家を改修し子育ての場所づくりとして活用している東近江市の「子民家etokoro」、かつての紡績工場で近江の手仕事によるコミュニティーができてい「ファリカ村」。そんなファリカ村では週末になると様々なものづくり体験が行われています。

このコースに投票する!

お名前・ニックネーム(任意)

性別(必須)

 男 女 その他

年代(必須)

お住まいの地域(必須)

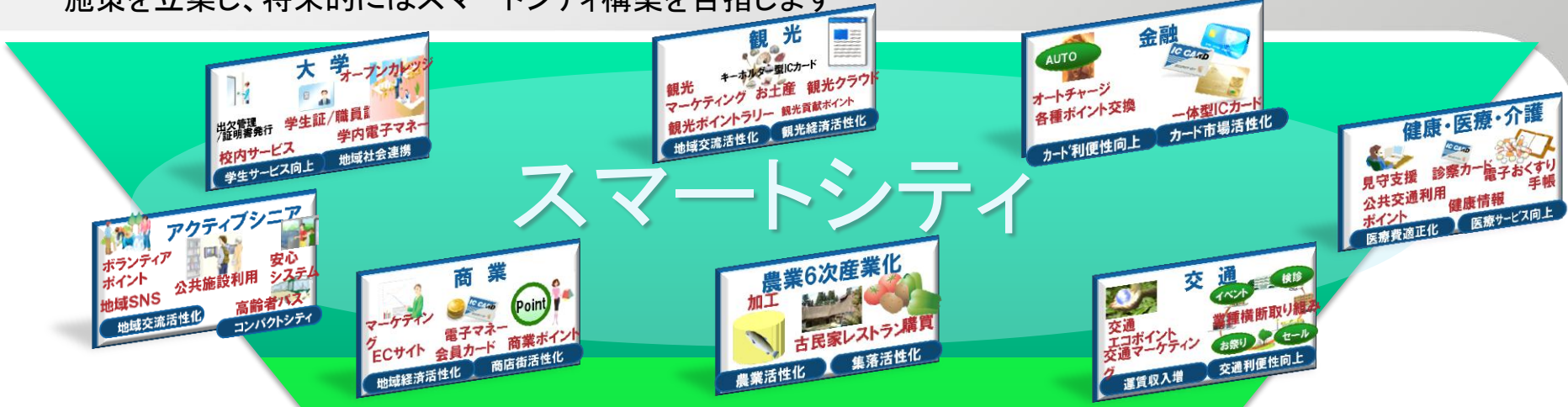
メールアドレス(必須)※人気投票の結果をご案内します!

(5) 事例プロジェクトの今後「スマートシティ構想」

初年度は着地型観光を主軸として活性化に着手しましたが地域が抱える課題の優先順位に応じ
 施策を立案し、将来的にはスマートシティ構築を目指します



スマートシティ



富士通地域ICTプラットフォーム


- 安心安全
- 電子チケット・マネー
- コミュニケーション
- 税・財産管理
- スタンプラリー
- 健康管理
- 人材育成

- ### 新サービス
- ・地域連携ビジネスマッチング
 - ・地域通貨/ポイント
 - ・シニアビジネス

データ蓄積

データ分析
 マーケティング利用





FUJITSU

shaping tomorrow with you